

『北斗』の魂を受け継ぐ

北斗伝承 対談

『北斗の拳』全巻を3回揃えました



猫井 今日はお会い出来て光栄です。「北斗の拳」は子供の頃から一番好きな漫画でした。

原 ありがとうございます。第一線で活躍している作家さんにそう言ってもらえると嬉しいですね。

猫井 子供の頃は勉強もせずに漫画ばかり読んでいたので、母に2回ほど「北斗の拳」の単行本をまとめて捨てられたことがあるんですよ。そのたびに買い直していたので、結局「北斗の拳」全巻を3回揃えましたね(笑)

原 それは凄い！子供のお小遣いだとか結構な出費ですよ。

猫井 それくらい払っても惜しくないほどの魅力が「北斗の拳」にはありましたから。

原 今回は「レイ外伝」を描くということとですけれど、レイに関してどのような印象をお持ちですか。

猫井 レイは「北斗の拳」のキャラクターの中で僕の絵柄にあって一番描きやすいです。

原 確かに緻密で線の細い猫井さんの絵

は優雅華麗なレイのキャラにぴったりですね。

猫井 レイは登場時と死ぬ直前とは印象が全然違いますよね。後半の義に篤いレイも格好良いですけど、僕は最初の悪そうなレイが特に好きです。

原 最初は敵のつもりで描いていたんですよ。後から仲間になるっていうのを前提に話を作ると、それが絵に出て読者にばれてしまう。読者を騙すためにはまず自分にも暗示をかけて描かなきゃいけない。

猫井 なるほど。考えたものが絵に出てしまうというのは良くわかります。

原 だからこそ描いてる方が理解しないまま漫画を描いてはいけないんです。たとえ間違っているとしても「多分こうだろう」と答えを出して描いていく必要があります。

そうでなきゃ読者には絶対に伝わらない。

猫井 今回の「レイ外伝」では僕らが考えるレイの生き様を読者の皆さんに理解

してもらえよう頑張ります。

原 現在作画中ということですが、描く上で悩んでいることなどありますか。

猫井 もともと「北斗の拳」の世界観と僕の絵柄にはギャップがあるので、その差をどう埋めるかで迷っています。

原 その辺は自由に描いてください。何かに縛られずに自分の感性で描くのが一番です。作者が楽しんでない作品は読者も楽しめないんですよ。

猫井 そうですか。自由にやっていいということであれば少し気が楽です。

原 逆に僕のまねっこで描く方が面白くない。もっと思いつき既存の「北斗の拳」をぶっ壊して欲しい。お互いの良いところを積み重ねてより大きな作品を作るっていうのが重要だと思います。そうすれば絶対にいいモノができますよ。期待しています。

猫井 ありがとうございます。原先生のアドバイスを参考に「レイ外伝」を仕上げたいと思います。

『北斗の拳』をぶっ壊して欲しい!!



HARA TETSUO

原哲夫
東京都出身。代表作は言わずと知れた「北斗の拳」「花の慶次」。現在週刊コミックバンチ誌上で「蒼天の拳」を連載中。

原哲夫先生も期待大の『北斗の拳 レイ外伝』は次頁から始まるぞ!!



NEKOI YASUYUKI

猫井ヤスユキ
兵庫県出身の二人組。代表作「Drop☆Kick」(「ヤングガンガン」・スクエアエニックス)コミックス「キャットライフ」(二見書房)絶賛発売中!!